

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス にじいろプラス		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 4日		2025年 3月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 3月 5日		2025年 3月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童のやりたいこと等をくみ取りながら、様々な活動を提供している。	毎月、やりたいことのアンケートを取り、相談しながら活動を提供している。外出活動等、事前に子ども達と話し合いをして、行く場所を決めている。話し合いを通して、他者の意見を聞いたり、伝える機会としている。	中学生向けに、目的や交通手段等調べたりまとめたりする外出活動を展開していきたい。
2	地域のイベントや、社会にでる活動を幅広く行っている。	地域住民等が参加するイベントに参加し社会の人との関わる機会を作っている。公共交通機関を使いながら、社会に出る活動を提供している。	更に地域のイベントに参加し、地域の子どもの関りの機会に繋げたい。
3	FacebookやLINE・にじいろプラス通信にて活動の内容を写真等を等して伝えている。	活動の内容を鮮明に伝えるために写真での情報配信も行っている。児童も写真を通して家族に活動の説明ができるため、コミュニケーションにも繋がっている。	可能な限り、毎日写真の配信を行い、さまざまな活動の様子を伝え、親子のコミュニケーションの繋げていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の自立度が高いため、家族で何かをする活動に繋げることができなかった。交流する機会が少なかった。	親同士の交流する機会を増やし、子育ての相談や、情報の共有に繋がりたいと考えている。しかし、子ども達の思いとしては、子ども達だけで楽しみたいという思いもある。	子ども達が企画したイベントに家族が参加する形で企画を考えたい。
2	放課後児童クラブや児童館との交流ができていない。	放課後等学童クラブは学校に併設されているため、関わるのが難しい。児童館や公園等で地域の児童と関わる機会はあるものの、もっと関わる機会を増やしていきたい。	にじいろプラス児童のみで遊ぶのではなく、子ども達が主体になりながら周囲の児童が遊びに混ざったり、一緒に遊べるような環境づくりを職員が行っていく。
3	事業所の行事に地域住民を招待する等ができていない。	招待する事業所の広さではないので企画等が難しい。しかし植物栽培を通して地域の人々とあいさつや、植物について話したりと会話をする機会はできている。ハロウィンイベントでは近隣のお店等と関わりを作っている。	事業所に招き入れることは難しいので、事業所の方から外に出る機会を作り関りの機会を作りたい。

事業所名	にじいろプラス
------	---------

公表日 2025年3月28日

利用児童数 16名（兄弟利用のため配布14名）

回収数 10名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1			聴覚過敏があるので、静かなスペースがあるので助かっています。 活発な子ども達には少し狭い印象がある。	事業所2階に学習室があり、静かに学習をしたり、気持ちのクールダウンに使用できます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10				外出時も安心できる。	人員配置基準 児童5名：職員1名に対応して配置しています。障がい特性の応じて外出時のマンツーマン対応も行っていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1		2	アットホームな雰囲気子どもも気に入っています。	事業所内外に段差がありますが、必要の際は職員が介助します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10				子ども一人一人の特性を理解して対応してくださるのでとても安心しています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10				家庭ではできないことがたくさん経験できています。	
保護者 への 説明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		5	1	4	地域の他の子ども達と一緒に活動するプログラムがあることをしらない。	放課後児童クラブや児童館との交流はありません。地域の子どものとは公園遊びの際に関わりがあります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	2		1	都合がつかず、参加できていませんが、家族も参加できるプログラムが実施されている。	2024年4月に家族向け学習会を行いました。引き続き企画していきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10				どのスタッフとも話しやすいので共通理解ができていると思う。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1				年に2回個別支援計画についての面談を行っています。相談等がある際は随時お話を聞かせてください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10				困ったことがあっても親身に話を聞いてくれて、相談もしやすいです。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	5	1	2	きょうだい向けのイベント、機会があれば参加したい。 イベントに対して見学可能か分かりやすく提示して欲しい。	父母の会や保護者会はありません。イベント開催の際は家族参加ができる企画を考えていきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10				紙面での通信とラインでの当日の様子が 見れるので、状況もわかり安心できる。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1		1		各種マニュアルが策定されています。年 間計画に基づいて訓練も行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10					
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10				子どもが自分の居場所として認識していて、 職員との信頼関係も築けているので、親子で とても安心して利用できている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10				予定表をみて「これ楽しみ」と言ったり しています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				親子共に安心と信頼をもって通所してい ます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	にじいろプラス				公表日	2025年 3月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		利用定員10名に対して、県の基準にあった適切なスペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		人為配置基準5名：1名に対応して配置しています。保育士・児童指導員においては県の基準以上の職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	学習や活動で使う筆記用具などは、入っている引き出しに道具の名前の他に絵でも分かりやすく可視化して自分で出し戻しができるようにしている。	新規利用がある場合にはもう少し構造化が必要だと思う。段差や扉が多く環境上の過ごしにくさがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		カームダウンスペースが不足。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	個別の部屋以外にパーテーションで仕切れる空間を提供している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	3		PDCAサイクルを持った業務改善は行えていません。次年度以降行っていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		第三者による外部評価は行っていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修を受講する機会は確保されており、施設内では虐待防止研修など、共通認識を行うために研修を行っている。	パート職を含めた研修があってもいいと思う。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	4		外部機関が行った標準化されたツールでの譲許把握は行いましたが、内部における標準化されたツールはありません。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		毎月さまざまな活動を職員全体で考えながら行っています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		レクリエーションでも違った活動を提供して、同じ活動でもレベルアップや、視点を変えたやり方で子どもたちが参加しやすいように工夫を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		児童の良かった点や改善した方がいい点や危険な場面があった場合は報告の他にヒヤリハット報告書を提出するなど、児童の様子を時系列を用いて共有することができる。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自分で考えて自分の思いを伝えることや選択できる機会を活動や毎日の「今日の感想」で相手に自分の意見を伝えることを行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			今年度は対象児童がいませんでした。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			今年度は対象児童がいませんでした。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			今年度は対象児童がいませんでした。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	地域の公園に行くことや、公共施設のイベントに参加などを行った。	地域の小学生との交流はあまりないため、地域交流をもっと増やしていく必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4	北埼玉地域障がい者支援協議会主催の放課後等デイサービス事業所職員を対象とした会議に参加しています。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		もっと研修の機会を増やしてもいいと思う。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2	保護者同士で意見交換ができる場（学習会）の開催を1度行った。	交流する機会が少ない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1		今年度は苦情になる事案は発生しませんでした。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		事業所の建物上、招待するイベントの開催が難しい状況です。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	各種マニュアルを策定し、それに基づいて訓練等を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			薬の変更などの情報の確認が遅くなる時があった。今後は事業所側からも確認をした方がいいのではないかと思った。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3		対象児童がいらないため、直接対応はありませんでした。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3		安全計画に基づいて、取り組み内容の周知には至りませんでした。次年度周知を行います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2	法人に身体拘束適正化委員会があり、身体拘束適正化研修等を行っています。		